

Europe Indicators

発表日: 2021年6月9日(水)

欧州経済指標コメント: 6月ドイツZEW景況感

～経済活動再開>供給制約～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 主席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

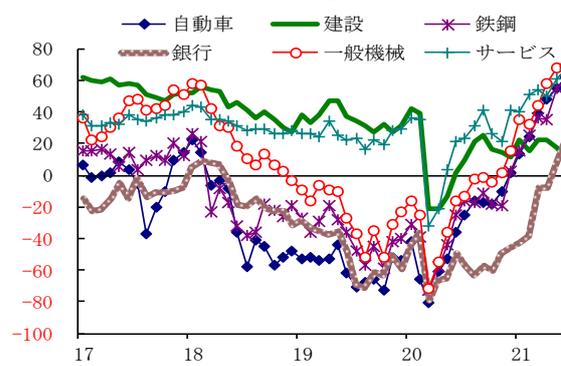
- 8日に発表された6月のドイツZEW景況感（金融市場参加者による半年先の景況感）は+79.8と約20年振りの高水準を記録した前月の+84.4からやや低下したものの、歴史的な高水準を維持。回答者の81.9%が先行きの業況改善を見込み（前月は85.5%）、悪化を見込むのは2.1%（前月は1.1%）にとどまった。同時に発表された景気の状態判断は▲9.1と前月から一気に31.0ポイント改善し、2019年央以来のプラス圏浮上が視野に入る。単月としては統計開始以来で最も大きな改善幅を記録。「悪い」の回答割合が20.2%ポイント減り、「良い」が10.8%ポイント増加。
- 調査票の回収期間は5月31日～6月7日。ドイツの主要株価指数が史上最高値を更新した時期と重なる。ワクチン接種の大幅加速もあり、コロナ禍克服期待の高まりが業況改善を支えている。
- 業種別の業況判断（「改善」－「悪化」の回答割合）は化学、建設、通信を除いた全ての調査対象業種が前月から改善が加速。早期テーパリング観測の後退から、銀行が前月から大きく改善。自動車は1998年夏以来の高水準を記録した。但し、最近の統計データで製造業受注と鉱工業生産の乖離が広がっており、供給制約が製造業活動の抑制につながっている可能性が示唆される。
- 物価判断（「上昇」－「下落」の回答割合）はドイツ（前月から+2.4）とユーロ圏（同+2.0%）が前月から上昇超過幅がやや加速した一方、米国（▲13.2）が大幅に低下した。最近の米国の消費者物価の上振れを一過性のものと判断している市場参加者が多いことが示唆される。

■ドイツ：景気の状態判断・先行き判断



出所: ZEW

■ドイツ：ZEWの業種別景況感



出所: ZEW

■ドイツ企業景況感（季節調整済み）

	2020		2021		2021											
	3Q	4Q	1Q	2Q	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
ZEW景況感（先行き）	69.4	50.0	69.9	78.3	71.5	77.4	56.1	39.0	55.0	61.8	71.2	76.6	70.7	84.4	79.8	
現状指数	-76.1	-63.4	-64.9	-32.7	-81.3	-66.2	-59.5	-64.3	-66.5	-66.4	-67.2	-61.0	-48.8	-40.1	-9.1	
Ifo景況感（総合）	91.6	92.0	93.2	—	91.9	92.9	92.6	91.1	92.3	90.2	92.7	96.7	96.6	99.2	—	
現状指数	87.4	90.7	91.0	—	88.1	89.4	90.5	90.1	91.5	89.3	90.7	93.1	94.2	95.7	—	
先行き指数	96.0	93.3	95.5	—	96.0	96.5	94.7	92.1	93.2	91.2	94.8	100.4	99.2	102.9	—	
PMI製造業指数	53.2	58.1	61.5	—	52.2	56.4	58.2	57.8	58.3	57.1	60.7	66.6	66.2	64.4	—	
サービス業指数	52.9	47.5	48.0	—	52.5	50.6	49.5	46.0	47.0	46.7	45.7	51.5	49.9	52.8	—	

出所: ZEW、Ifo、IHS Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

